

人物 クローズアップ

いちかわ よしひろ
市川 善弘 代表取締役

BRAIN CORPORATION 東京本社=東京都港区六本木
3-13-12 エルサビル302

1965年(昭和40年)11月25日生まれ(56歳)。大学卒業後、安田火災海上保険(現・損害保険ジャパン株式会社)入社。30年勤務し、2018年(平成30年)3月に退職。株式会社BRAIN CORPORATIONを創業する。今年4月から5期目。「成果の出る車販、車検、自動車保険等のお客様対応力育成コンサルティング」が信条。福岡県太宰府市出身、菅原道真公の家来の末裔。釣り、山登り、マジックなど趣味多数。

略歴

自動車業界のために尽くす
論理的、かつ情熱的に
結果を残すコンサルとして
『卓越した人財育成』に尽力



「それによって燃料油収益の減少だけではなく、車検粗利にも大きな影響をもたらす。基本工賃程度に激減する。これから増えるHV車の入庫が、車検粗利減少の序章」と指摘する。

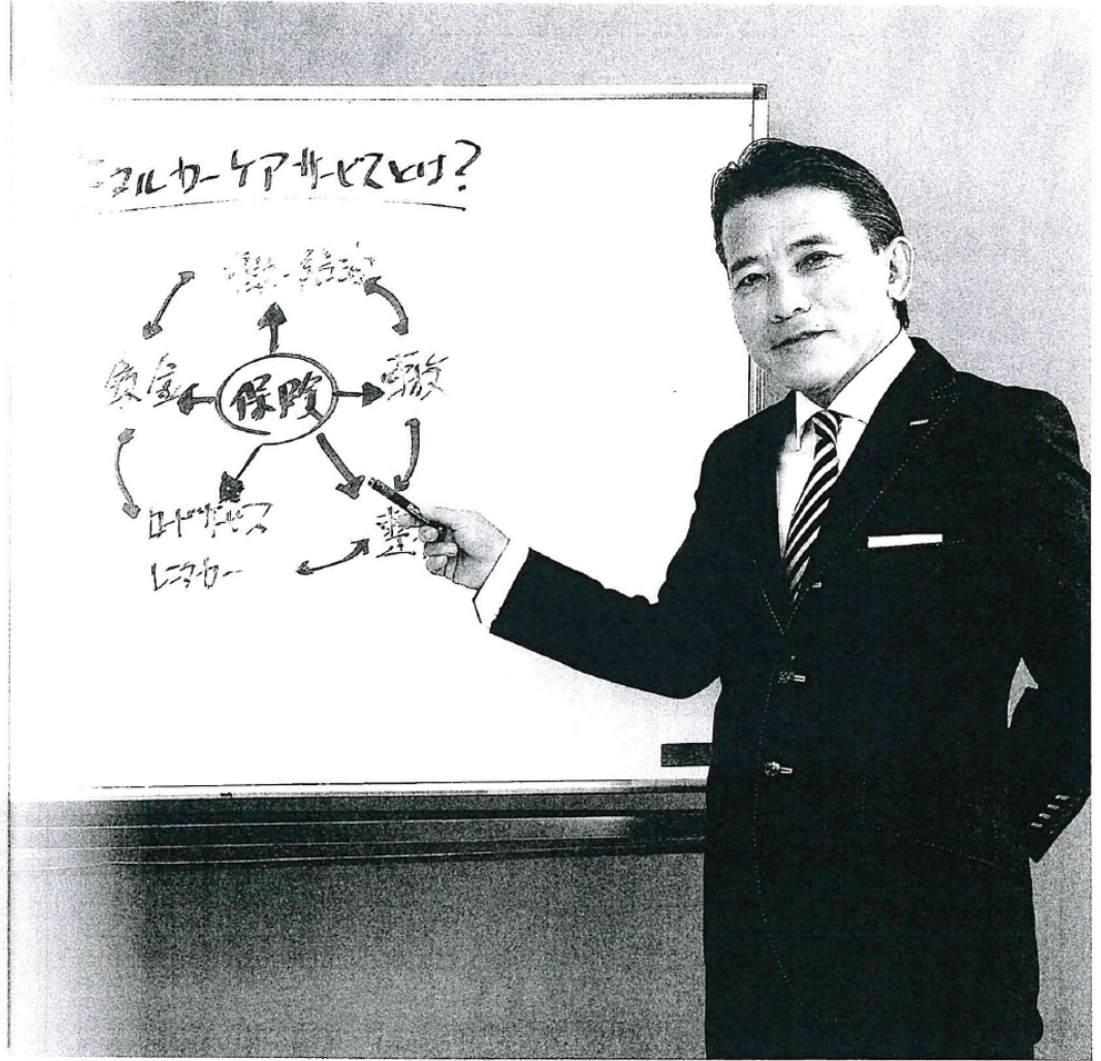
2030年まで今年を含めるとあと9年。「S業界は、論理的に分析しても、燃料油収益だけで潤った時代は終焉を迎えている。しかし、私が心配になるほど危機感のない事業者が多いと恐れながら感じる」と語る市川社長は、コンサル事業者として次の点を提唱する。

① 最悪なシナリオを想定して、まずは5年先までの事業計画を

作成、② 社員と事業計画案を共有し具体策を練り上げる、③ 車販強化策(1年後、車販台数を2~3倍化する具体策)、④ 車検強化策(1年後、車検台数1.5倍化への具体策)、⑤ 鈹金強化策(事故鈹金、軽鈹金の自社入庫が90%になる具体策)、⑥ コーティング・レンタカー収益強化策、⑦ 自動車保険収益強化(3年後、全事業収益の10~20%にする具体策)。

これからの荒波を乗り越えるために、最も大切な事は生涯顧客づくりと「人財育成」と訴える。

「車関連業界のなかでも、顧客接点の多いS業界はアドバンテージを持ち、油外収益の伸びしろがある。しかし、うちの社員は勉強が嫌い、これ以上の負担をかけられないと経営者が教育を諦めていませんか? 弊社なら、社員の意識変革、話力訓練で必ず成長させることができる。将来の危機を踏まえれば、物を言える。外部コンサルに育成を頼む時代ではないでしょう。社員の未来のためにも一緒に頑張らましよう!」。



30年間勤務した損保会社では、自動車関連事業者向け営業、人事部門、営業推進部門を歴任した。人事部では社員教育、社外研修を担当し、社員1000名以上、代理店2000名以上の教育を行ってきた。

「人財(材)教育は天職と思う」と市川社長。大好きな自動車業界のために尽くしたいとの強い思いから独立し、コンサルティング事業を創業した。

事業内容は、組織体制の整備から、車販・車検取扱教育など多岐に渡るが、「独自の手法で自動車保険を驚異的に伸ばす手法」は絶対に負けない自信がある。コンサル費用も自動車保険収益の増加分で賄う、日本唯一「コンサル費用実質0円」をうたう異色の会社である。

「弊社は、自動車業界の業種を絞っていないため、常に複眼的に情勢分析を行える点が強み」。世界的なEV化の潮流に加えて、トヨタが発表したEV360万台販売を筆頭に日本勢もEVシフトに傾くのは必然。